

令和6年第8回定例会

江東区教育委員会会議録

令和6年8月23日（金）

江東区教育委員会

令和6年第8回江東区教育委員会定例会会議録

- 1 開会年月日 令和6年8月23日（金）午前10時00分
- 2 閉会年月日 令和6年8月23日（金）午後0時08分
- 3 開会場所 江東区教育センター
- 4 出席委員 本多健一朗（教育長）、本田和恵（教育長職務代理者）、安部敏啓、鈴木清人、浅野美智子
- 5 出席職員 青柳教育委員会事務局次長、梅村教育委員会事務局参事 深川図書館長事務取扱、瀧澤庶務課長、西尾学校施設課長（整備担当課長兼務）、佐久間学務課長、金指指導室長（教育センター連絡調整担当課長兼務）、木内教育支援課長（教育センター所長兼務）、大田地域教育課長、吉木江東図書館長

6 報告事項

- (1) 江東区立幼稚園の今後のあり方に関する基本方針（令和6年度改定版）について
- (2) 令和7年度区立幼稚園の園児募集について

7 協議事項

- (1) 令和7年度中学校教科用図書採択について
- (2) 令和7年度江東区立学校特別支援学級教科用図書採択について

8 審議概要

本多教育長 それでは、ただいまより令和6年第8回江東区教育委員会定例会を開会いたします。

本日の会議について傍聴したい旨、29名の申出がありました。江東区教育委員会傍聴規則第3条では、傍聴人の定員は5名と定められているところではありますけれども、同規則第9条に基づき、本日は定員を75名といたします。傍聴を認めますので、事務局は速やかに傍聴人を入室させてください。

傍聴される皆様をお願いいたします。教育委員会の規則では、傍聴人は5名と定められているところではありますけれども、本日は定員を75名とさせていただいております。傍聴を希望された方29名全て、傍聴していただくことになっております。教育委員会では、教科書採択の議論及び全ての案件についての協議を静謐な環境の下で行いたいと思いますので、どうぞ皆さんの御協力をお願いしたいと思います。

また、会議の秩序を乱し、議事の妨害となるような行為があった場合には、教育委員会傍聴規則に基づき、傍聴人の方に退場を命じます。そのようなことはないと思いますけれども、御協力どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、本日の会議録署名委員を御指名いたします。安部委員、鈴木委員にお願いいたします。

それでは、審議に入ります。議事進行上の関係から、初めに協議事項を審議いたします。

協議事項1 令和7年度中学校教科用図書採択について及び協議事項2 令和7年度江東区立学校特別支援学級教科用図書採択については、教科書採択に関する案件のため、江東区教育委員会会議規則第14条第2項の規定により、一括審議といたします。

なお、審議に入る前の確認事項といたしまして、今回の教科書の採択に関わる公正な選定、採択手続を期するために、本委員会の教科書採択の資料及び会議録については、採択が終了した後に情報公開に付すことといたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 御異議なしと認めますので、さよう決定いたします。
それでは、本案について事務局より説明願います。
指導室長。

金指指導室長 それでは、本日の教科書採択の流れについて御説明いたします。
8月15日の第4回臨時会において、令和7年度から中学校・義務教育学校後期課程で使用する教科書のうち、国語、書写、数学・理科、音楽(一般)、音楽(器楽合奏)、美術、保健体育について採択していただきました。

本日は、社会(地理的分野、歴史的分野、公民的分野)、地図、技術家庭(技術分野、家庭分野)、外国語、特別の教科 道徳について御審議いただき、採択していただくこととなります。

なお、本日も教科書の見本を机上に御用意いたしましたので、資料と併せて御覧いただきたいと存じます。よろしくをお願いいたします。

本多教育長 それでは、初めに社会(地理的分野)について審議いたします。委員の皆様におかれましては、社会(地理的分野)の教科書の準備をよろしく願います。よろしいでしょうか。
それでは、事務局より説明願います。
指導室長。

金指指導室長 社会科は、「社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会

に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成すること」を目指しております。

また、地理的分野の目標は、「社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成すること」を目指しております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、①問題解決的な学習について、②生徒の興味・関心を高める資料の掲載について、③生徒に育成すべき資質・能力について、④対話的・協働的な学びについてとなっております。

以上であります。

本多教育長 ありがとうございます。

それでは、社会（地理的分野）について御審議いただきたいと思っております。御意見ございましたら、よろしく願いいたします。

浅野委員。

浅野委員 各社の教科書を見ていますが、大きな写真やイラスト、グラフや表に加えて二次元コードからアクセスできるデジタル資料が豊富で、生徒が楽しみながら活用できる教科書だと感じました。地理の学習は、生徒が見たことや行ったことのない世界の国々や日本の地域について学習するので、生徒の学習意欲を高めるような資料が多くある教科書がよいのではないかと思います。

本多教育長 ありがとうございます。

安部委員。

安部委員 私も浅野委員と同じ意見です。どの教科書も写真や地図など資料の扱いに工夫がありまして、生徒が興味・関心を持って学べるように配慮されています。

私が特に注目したのは、学習の導入場面における資料掲載の工夫です。各社とも、特に導入場面は大きな写真を用いたり、問いを示したりしています。世界の諸地域について学習する単元の導入ページを見ていますが、東京書籍の「世界の窓」や日本文教出版の「写真で見る」、そして帝国書院の「写真で眺める」などは、写真から生徒の学習に対する問題意識や興味・関心を高められるように工夫していると思います。帝国書院と日本文教出版は日本の諸地域について学習する単元にも同様のページが用意されているので、見通しを持って学習を進めやすいのではないのでしょうか。

本多教育長 ありがとうございます。
 確かに、写真が分かりやすく載っているところがありますね。ありがとうございます。
 ほか、いかがでしょうか。
 鈴木委員。

鈴木委員 私は、地理の学習では、写真だけでなく地図やグラフ、表などの様々な資料から生徒が学習を深めていくことが大切だと思っています。
 気温と降水量をグラフで表した、いわゆる雨温図の読み取り方を掲載しているページについて、各社比べてみました。さらに工夫されているなど感じました。各社とも雨温図については掲載していますが、東京書籍、教育出版、帝国書院の3社は複数の地域の雨温図を掲載しているので、比較をしながら資料について理解を深めることができると思います。教育出版は3つのグラフを示していますけれども、「地理の技」として丁寧に説明しています。帝国書院も「技能をみがく」として丁寧に説明しているとともに、様々な気候帯と合わせた10個の雨温図を掲載しているので、生徒の資料を活用する技能向上につながるように感じました。

本多教育長 ありがとうございます。
 確かに、雨温図がずらっと並んでいるのが、子どもたちがなかなか行ったことがないところのイメージを広げるという意味では大切な資料かもしれないですね。
 ほか、いかがでしょうか。
 本田委員。

本田委員 資料として写真はとても重要だと思っているんですけども、その写真を生徒がどんなふうに取り取るか、分かりやすく説明していただけることが大切だろうなと思っています。
 例えば、東京書籍の34ページには世界の様々な地域に関して学習するページがあるんですけども、この導入では、「スキルアップ」というタイトルで写真の読み取り方を示しています。そして、導入の活動として「人々の暮らしを写真から探ろう」となっています。具体的に1枚の写真から情報を読み取る方法であるとか、複数の写真を比較する方法が示されているので、すごく分かりやすいなと感じました。
 以上です。

本多教育長 ありがとうございます。
 ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安部委員 本田委員がおっしゃった単位について、帝国書院で見ました。27ページの写真です。「技能をみがく」として写真の読み取り方を示していますが、掲載している写真について、衣服や店の様子、売り物といった視点で、地理的な特徴が分かりやすい箇所に囲みをつけて説明しています。着目すべきポイントがより具体的に示されているので、生徒が主体的に学習に取り組むためには、とても効果的だと思いました。

本多教育長 ありがとうございます。

確かに、今、御指摘があったとおり、世界の方々が生活をしているところの写真がいろいろ比較できるようにして載っていますね。ポイントがそれぞれあって、分かりやすいですね。

ほか、いかがでしょうか。

浅野委員。

浅野委員 写真から読み取る点では、日本文教出版では26ページにあります。生徒自身に取り組む「やってみよう」というのもあり、内容は帝国書院のほうが充実しているように思いました。

本多教育長 ありがとうございます。

今、御指摘いただいたところも、それぞれ見てみますと、確かにそういったところがありますよね。ありがとうございます。

その他の視点で構いませんけれども、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴木委員 東京都や江東区に関する資料の掲載について、各社を見ました。「関東地方の学習」の中で、どの教科書も東京を取り上げています。

江東区についての記載は、結果報告書を基に確認してみましたが、教育出版は、279ページに東京湾の廃棄物埋立処分場として「海の森」の写真が出ております。帝国書院は、157ページに有明にある水素ステーションの写真があります。240ページには豊洲市場を含めた江東区の湾岸地域の写真が掲載されています。日本文教出版は、241ページに人口が急増している臨海部として江東区の高層マンションの写真が、246ページには荒川ロックゲートの写真が掲載されています。身近な地域の資料が掲載されているので、生徒にとってはとても学習しやすいのではないかと思います。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

確かに、身近な、子どもたちが知っている地域が取り上げられているというのは、他の教科書のときも出てきましたけれども、子どもたちにとっていろいろなことが身近に感じられるかなど。今、御指摘があった水素ステーションの話は前回の理科のところでも出てきて、大きな写真があったりしましたけれども、この写真をよく見ると、奥に有明西学園が見えたりということで、子どもたちにとってはそういった関心も高いのかなという気もいたします。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

本田委員。

本田委員 日本領域・領土に関する問題についての表記を見比べてみました。各社とも、もちろん写真や地図などの資料を豊富に使っていて、分かりやすくまとめてあって、しっかりと学んでいくことができるのかなと思う中で、帝国書院については、国際法についての解説も掲載されているところがいいかなと思います。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。どうでしょうか。よろしいですか。

今まで様々な視点から地理について御意見を伺ってきましたけれども、皆さんの御意見を伺っておりますと、社会（地理的分野）については、帝国書院が適しているのではないかなと思いますけれども、いかがでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

本多教育長 それでは、これまでの各委員の御意見を整理させていただきますと、生徒が興味・関心を持って学べること、資料活用の内容が充実していること、江東区に関する記載に工夫が見られること、我が国の領土・領域に関する記載に工夫があること、以上の4つの理由により、帝国書院を採択したいと思っておりますけれども、御異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

本多教育長 それでは、御異議ございませんので、社会（地理的分野）については帝国書院を採択することといたします。

続いて、地図について審議いたしますので、委員の皆様におかれましては地図の教科書の御準備をよろしくお願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、事務局より説明願います。

指導室長。

金指指導室長 教科用図書としての地図の活用については、社会科の学習を進める上

で大切な教材であることはもちろんですが、他教科や日常の生活においても地図帳を活用した指導を行い、地図を自在に活用できるようにすることが重視されております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、①地図帳の活用方法について、②他分野等における活用方法について、③地図帳の使い方に関する記載について、④日本固有の領土についてとなっております。

以上であります。

本 多 教 育 長 それでは、地図について御審議いただきたいと思います。御意見ございましたら、よろしく願いいたします。

安部委員。

安 部 委 員 私は、両社とも巻頭にある目次のページを見比べていました。両社は東京書籍と帝国書院です。世界全体を折り込みページで示しているページです。

両社とも、紙面の左側に目次があります。東京書籍は、「世界全体」や「アジア」など、各ページについてエリア別に分かるよう色分けされたラベルが記載されていて分かりやすいです。一方で、帝国書院は、目次に「SDGs」や「公民の公」、「歴史の歴」など、他の分野やSDGsに関連する資料が掲載されているページにマークを記載しています。私は、地図帳には地理的な情報だけでなく多くの資料が掲載されているので、ぜひ地理以外の学習でも地図帳を活用してほしいと思います。そのため、目次で分かりやすく他の分野等で活用できることが分かる記載があるのは、とてもよいことだと思いました。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。

冒頭、室長のほうから、いろんな教科、いろんな場面で活用できることが大事だという話がありましたけれども、そういった部分では、そういう目次に工夫があるというのは大事な視点かなと思いますね。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

本田委員。

本 田 委 員 私も全く同じように思います。巻頭から見ても、帝国書院は、8ページから「地図で考える持続可能な社会」としてSDGsや環境問題、また、食糧問題などについて、複数ページにわたって掲載しています。同じように東京書籍でも8ページでSDGsについて掲載していますけれども、帝国書院については、地図の内容とSDGsのゴールとの関連というものがすごく分かりやすく示されていると感じました。これから

の国際社会を生きていく中学生にとっては、SDGs等の世界的な課題についてしっかりと学んでほしいと思うので、その点がいいなと感じています。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

地理に限らずというか、そういった部分で、世界的な問題でもあるSDGsについて、いろんなところで幅広く使えるという御指摘だったかなと思います。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

浅野委員。

浅野委員 私は、江東区が掲載されているページを探してみました。東京書籍の109、110ページ、帝国書院の135、136ページです。東京都の中心部について両社とも掲載していますが、江東区は両社とも区役所の辺りから東側は掲載されていませんでした。江東区の地理的な学習は副読本を活用するので問題はないとは思いますが、少し気になりました。

本多教育長 ありがとうございます。

確かに、見てみると切れているところがありますよね。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安部委員 江東区の全体が掲載されていないのは少々残念ではありますが、帝国書院には、同じページに江戸時代の地名が分かる地図や歴史の学習で活用できる資料を掲載してまして、江東区の地名や名所もあつたりしています。

本多教育長 ありがとうございます。

特に深川とか、大きくいっぱい書いてありますよね。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴木委員 今の江戸時代の様子が分かる資料ということでは、東京書籍も掲載しています。東京書籍の111ページは、「江戸・東京の鳥瞰図」を見開きで掲載しています。ページの上部に江戸時代の地図、下部に現在の東京の地図を掲載して、比較しながら考えることができるので、大変よい資料だなと感じました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。
 ほか、いかがでしょうか。
 浅野委員。

浅野委員 帝国書院の139ページを見ていただけますか。ページの下のほうに、「東京湾臨海部の開発」として、有明・豊洲・辰巳エリアなど本区の湾岸エリアについて詳しく地図が掲載されています。自分たちの住んでいる江東区について理解が深められるよい資料だと感じました。

本多教育長 ありがとうございます。
 江東区の記載についてということで今、御意見をいただいたところでありますけれども、今、浅野委員から御指摘があったところをよく見ますと、両社ともに載せているところもあるんですけども、ちょっと資料が違っていたりしますよね。特に、先ほど御指摘があった帝国書院の139ページの下の地図、これが2022年12月の状況だと書いてあって、実は湾岸地区って結構、日々変わるので、新しい資料が載っているというのはすごく大事で、2022年12月、実は湾岸部は、これをよく見てもらうと、パレットタウンの観覧車がないんです。なので、比較的新しい地図を入れていて、こういったことは子どもたちもよく知っていることなので、こういう新しい地図が載っているのもいいかなと思いますし、よく見ると有明西学園がちゃんと地図で描いてあるという、細かく描かれているところもありますけど、こういった子どもたちにとって身近なことが新しい資料で載っているというのも大事なかなかなと思います。ありがとうございます。
 ほか、いかがでしょうか。
 鈴木委員。

鈴木委員 地理のときにも日本の領域・領土について触れましたけれども、中学生には、我が国の領土と周辺の国々について正しく理解してほしいと考えています。

 この両社を比較しましたが、日本の周辺について示した地図では、日本の領土を正しく表記されていると思いました。

 東京書籍は、171ページに日本の北端、東端、西端、南端に位置する島々について、大きめの写真とともに解説を掲載しているので、それぞれの島の特徴も地図帳で学習することができるのではないかなと思います。

 以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

本田委員。

本田委員　私も同じページを見ているんですけども、帝国書院では197ページの左上に模式図を掲載していて、立体的な図で示されているので、空のところについても理解しやすい、領空についても分かりやすいなと感じました。

右下には「地図で発見」というコーナーがありますけれども、掲載されている地図から学習を深めるような問いが示されていて、生徒たちの自主的な学習に活用できるだろうなと感じます。

同じような問いが東京書籍にも掲載されているんですけども、帝国書院のほうがその他のページも含めて見やすく、様々な問いが投げかけられているように感じています。

以上です。

本多教育長　ありがとうございます。

今、御指摘があったところ、確かに領空が分かるような立体的な地図はなかなかなくて、このスタイルはいいのかなと思いますね。とてもいいと思います。東京書籍のほうも問いはあるんですけど、そのところの工夫がちょっと違うと御指摘がありました。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

これまで各委員の御意見を伺ってきたところでありましてけれども、地図については、帝国書院が適しているのではないかなと思いますけれども、いかがでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長　よろしいでしょうか。

それでは、これまでの各委員の御意見を整理させていただきますと、まず、様々な活動で活用できる豊富な資料があること、また、江東区に関する記載が充実していること、それから我が国の領域・領土に関する記載に工夫が見られること、以上の3つの理由により、帝国書院を採択したいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長　それでは、御異議ございませんので、地図については帝国書院を採択することといたします。

それでは、続いて、社会（歴史的分野）について審議いたします。委員の皆様におかれましては、社会（歴史的分野）の教科書の御準備をよろしくお願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、事務局より説明願います。

指導室長。

金指指導室長 社会（歴史的分野）の目標は、「社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成すること」を目指しております。

なお、採択資料作成委員会で話題になった主なポイントは、①教科書の大きさについて、②歴史全体を意識しながら学習するための工夫について、③生徒が主体的に学習を進めるための工夫について、④江東区に関連する資料等の掲載についてとなっております。

以上であります。

本多教育長 ありがとうございます。

それでは、社会（歴史的分野）について御審議いただきたいと思えます。御意見がございましたら、よろしく願いいたします。

浅野委員。

浅野委員 歴史は9社あります。どの教科書も、それぞれ特徴があるなと思いました。体裁だけ見ても、学び舎はかなり大きめです。逆に、令和書籍はかなり小さめで、手に持ちやすいサイズですが、他の教科書よりページ数がかかなり多くなっています。また、本編は縦書きで、印刷は一色刷りになっています。

他の7社はサイズ、ページ数はそんなに大きな差はありません。体裁だけではなく、内容も子どもたちが学びやすく、先生方が指導しやすい教科書がいいと思います。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

今も御指摘がありましたけど、9社、たくさんありますけれども、今、御指摘いただいた2社はちょっと形がほかとは違う、体裁もありましたけど、それは当然、今、浅野委員がおっしゃったように、内容含めて子どもたちが学びやすいという視点が大事かなと思います。

ほか、いかがでしょうか。

本田委員。

本田委員 学びやすさという観点では、歴史の学習は、全体の流れをつかみながら、それぞれの時代の特徴を学べるとよいと思うので、年表はすごく大事だと思っています。

東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版、自由社、育鵬社は、各ページに帯状の年表が掲載されているんですけども、それによって学習する内容が歴史の中のどの時代なのか、前後は何時代なのかという

ところを視覚的に捉えやすいのかなと思います。

教科書ごとに、見開きページの右側であるとかページの下部分であるとか、掲載されている位置というのは様々分かれているんですけども、教育出版に関しては見出しと学習課題の上に年表が掲載されているので、毎時間、学習の初めにどの時代のことについて学習するのかということを確認しやすいので、見通しが立てやすい、見通しを持って学びやすいのかなと思います。

ただ、右ページの右端に年表がある教科書は、ページをめくるとき、全体を見渡すときにはすごく便利なんじゃないかなとも感じます。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。

年表は、今、本田委員から御指摘があったように、時代を見通したり、全体の中での捉え方という意味でとても大事なことかなと思います。子どもたちも、授業している中で、授業の最初の時間にどこを見るかというところだったりすると、大体どこも見開き2ページで一つの時間が構成されるような教科書になっているわけですけど、今、本田委員から御指摘があった教育出版なんかは、今日、何をやったかと思ったところにすぐ年表があるという意味では、子どもたちが毎時間、毎時間、そこに行き着くというところでは、見通しがしっかり持ちやすいというのはあると思いますし、最後にあつためくりやすさという意味では、確かに右側にあるというのはめくりやすさがありますけど、両方あるというのはないかなと思いますので、それぞれの工夫なのかなと思います。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安 部 委 員 歴史の学習といえば、歴史上の人物について学ぶことが多くて、それはとても大切なことだと思います。資料3の教科書調査研究資料を見ますと、教科書に掲載している歴史上の人物の数もかなり違いがあります。

人物の数が多い順に見ていきますと、令和書籍、自由社、育鵬社、山川出版社、そして教育出版の順になります。ただ、子どもたちが学ぶには、数が多ければよいかというところでもなく、どのように扱っているかということが大切だと思います。歴史上の人物については、歴史の学習の初めに小学校で学習した人物を振り返ることができるように工夫している教科書が多く、子どもたちにとっては歴史の学習に入りやすいと思います。

育鵬社は、小学校で学んだ42人の人物の名前と似顔絵を掲載し歴史を振り返り、人物カード作りも取り上げています。教育出版は、「歴史ゲームで遊ぼう」として人物などについて振り返る学習を位置づけるとともに、これから学習する人物について、正しい説明を考えたり、「歴

史人物クロスワードパズル」に取り組んだりしています。どちらもとてもよい工夫だと思います。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

歴史上の人物はよく見ますけれども、最近はたまにテレビ番組でも話題になりますけれども、聖徳太子の厩戸皇子という呼ばれ方に関して、厩戸皇子という記載については、厩戸皇子と表記されたこともあり、後に聖徳太子になったみたいなことを記載する、触れてくださいと学習指導要領に書いてあって、なので今、全部書いてあるんですね。多分、特に皆様方がこどもの頃、習ったこととは違うとは思いますが、そんなふうになってきている。それがちゃんと教科書に反映されているということ。あとは、安部委員がおっしゃったように、では、どういうふうに小学校からつなげていくか、この視点も大事なのかもしれませんね。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴木委員 歴史上の人物というと、学習指導要領では、「身近な地域の歴史上の人物」を取り上げるようにすることとなっています。やはり、江東区では、松尾芭蕉、伊能忠敬、渋沢栄一についてしっかりと学んでほしいと思います。

各社工夫して掲載していますけれども、伊能忠敬に視点を当てると、自由社と育鵬社は「人物クローズアップ」として、帝国書院は人物コラムとして詳しく紹介しています。また、日本文教出版と教育出版は、授業の導入に伊能忠敬が測量に使用した国宝の測量機器の写真を掲載しています。どうしてこれほど正確な地図が描けたのかなという問題提起をしていて、なかなかいいなと思いました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

他の教科書でも話題になった江東区にゆかりのあるという部分では、こどもたちもやはりゆかりのある人物が江東区にいるというのはすごく誇りに思うところもあるので、しっかりと学べるといいかなと思います。

ちらちらとお話に出てきている社会科の副読本なんですけれども、副読本にも今回、渋沢栄一をたくさん載せるようにして、社会科の教科書と併せて副読本でも学習する形になると思うんですけど、副読本のほうはすごく詳しいですね。深川八郎右衛門とか砂村新左衛門とか、そういった人物までかなり細かく書いてあるので、教科書とうまく合わせて学習していくということが大事なのかなと思いますね。ありがとうございます。

います。

ほか、いかがでしょうか。

浅野委員。

浅野委員 私は、人物だけではなく、様々な写真や資料が豊富で、それらをこどもたちが活用しやすい教科書がいいと思います。

こどもたちにとっては、今とは全く違う、かなり昔のことについて学ぶことになるので、教科書の様々な資料を基に歴史に対する理解を深めていってほしいと思いました。

本多教育長 ありがとうございます。

そのとおりですね。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

本田委員。

本田委員 私も資料はとても大切だと考えています。特に、資料を使って歴史の変化に気づいたり話し合ったりすることが歴史の学習では非常に重要だと考えます。各時代の学習の導入には、こどもたちがその時代について問題意識を持って学習に臨めるような効果的な資料があるといいなと考えました。

そこで、そういった視点で見ると、教育出版と日本文教出版、育鵬社では、大きなイラストや写真を見開きで掲載しているので、こどもたちに資料から考えさせるような流れになっていて、とてもいいなと思います。そして、帝国書院については、「タイムトラベル」というページで、同じようにこどもたちに考えさせるようなイラストを掲載しているのが、学びやすいのかなと感じます。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

今、御指摘があったところを私も広げて見てますけど、先ほど導入の話をしましたけれども、授業の初めにこどもたちにいろいろなことを気づかせることがすごく大事で、そういった部分では、今、御指摘があったところ、大きな資料で一番初めの単元が始まる時にこどもたちに見せて、前の時代と違うところはどんなところがあるのかとか、この中で何か気づいたことがないかなと考えさせることはすごく大事なんですよ。特に歴史って好き嫌いというか、苦手、得意というのが分かれていくところもあるんですけど、こういうふうに資料から探すということは、ほかのこどもたちもすごく意欲を持ってできる場所なので、各社、工夫はしてますけど、こういった視点はすごく大事になってくるなと思います。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安部委員 私も、この各時代の学習の導入に掲載している大きなイラストや写真については、子どもたちが興味・関心を持って、さらに見通しを持って学習を進めることができる大切な資料だと思います。

現代のところの導入ページを見てみますと、各社、工夫しています。さすがに現代になるとイラストではなく、多くの教科書が写真を掲載しています。

中でも私が注目したのは教育出版です。教育出版は252、253ページで、銀座四丁目の同じ地点の写真を、年代を変えて4枚掲載しています。銀座の町の復興、発展の様子がよく分かるなと思います。建物だけではなく、交通の様子の変化も視覚的に捉えやすい、いい写真資料だと感じました。社会科の見方・考え方の一つである比較の視点で学習を深められると思います。

育鵬社も銀座の写真を3枚掲載していて、比較の視点は少し違いますが、同じように比較して考える活動を位置づけていると思いました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

今、安部委員から御指摘があったところを私も広げて比べて見ているんですけど。先ほどイラストの話がありましたけれども、写真を比べて見るというのは大事なところで、確かにこの銀座の変化の様子というのは本当に、よくこの写真を見つけてきたなというぐらいに同じ視点から比べられていて、子どもたちも比較しやすい写真になっていますね。こういったところはすごく大事な視点ですね。ありがとうございます。

ほかはいかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴木委員 先ほど身近な地域の歴史上の人物を話題にしましたが、学習指導要領学習では身近な地域の歴史も学習することになっています。自分たちが住んでる地域の歴史を学習することはとても大切なことだと思います。本区では教科書以外に、独自に作成している社会科の副読本もありますが、深川江戸資料館や芭蕉記念館、中川船番所資料館もありますし、文化遺産もあるので、実際に自分で地域の歴史を調べる活動にしっかり取り組んでほしいなというふうに思いました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

確かに、学習指導要領に、身近な地域の歴史上の人物と文化遺産を取り上げることに留意しなさいと書いてあるんですね。そういったところの視点から、今、御指摘をいただきました。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

本田委員。

本田委員 同じく、こどもたちは自分たちが住んでいる地域の歴史については、まだまだ詳しくはないと思うので、身近な地域の歴史についてはしっかりと学んでほしいなと思っています。江東区のごことは今まで出てきている副読本で学ぶことができると思うのですが、教科書では江東区以外の身近な地域の歴史を詳しく知ることができるのがいいなと思います。

各社、身近な地域の歴史を調べる学習に関するページを見てみると、東京書籍、教育出版、日本文教出版は、単元の最初に地域の歴史を調査する方法について詳しく記載しています。こどもたちが主体的に調査を進めるためにはすごく参考になるなと思いますし、先生方にとっても授業で活用しやすい内容になっているのではないかなと感じました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。こちらも参考になりますよね。調べ方というのがこういうふうに出ていて、今、本田委員から御指摘いただきましたように、先生方も参考になりますし、こどもたちも参考になるということが、調べた場所のことというより、調べる方法について詳しく、それを教科書でというのがとても大事な視点だなと思いますね。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安部委員 私も教科書の身近な地域の歴史を学習するページを見てみたんですけども、東京書籍や教育出版は、インターネットを活用して調査する際の注意事項についても丁寧に掲載しています。ネットには古い情報や誤った情報があるかもしれませんので、本区のこどもたちがChromebookを活用して調査する際には、ぜひ確認をしてもらいたいなと思います。

また教育出版は、身近な地域の学習の進め方について7ページも使って詳しく説明していますし、中学生が自分の地域の歴史を調べた実践例を特設ページとして6つも掲載していて、生徒が地域の歴史について様々な方法で調査するための参考になるのではないかなと思います。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

今御指摘いただいたのは非常に大事な視点ですね。調べ方なんです

けれども、インターネットをこどもたちが活用することが非常に多いんですよね。その中で、インターネットで調べたときの留意点、そこには偏りがあったりとか資料が古かったりとか、そういったこともあるのでという記載があるので、こどもたちがそこに視点が行って、これは正しいのかなと見たり、ほかのものと比べたりとか、そういったことに活用できるいい工夫ですよ。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

様々な視点から各委員から御意見を聞いてきたところですけども、これまでの各委員の御意見を伺っておりますと、社会（歴史的分野）については、教育出版が適しているのではないかなと思いますけれども、いかがでしょうか。

（「結構です」と呼ぶ者あり）

本多教育長 それでは、これまでの各委員の御意見を整理させていただきます。

時代が分かる表記上の工夫があること、歴史上の人物の取り上げ方について工夫があること、資料を活用する上での工夫があること、また、身近な地域の歴史の学習について工夫があること、以上4つの理由により、教育出版を採択したいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

本多教育長 御異議ございませんので、社会（歴史的分野）については教育出版を採択することといたします。

続いて、社会（公民的分野）について審議いたしますので、委員の皆様におかれましては、社会（公民的分野）の教科書の準備をよろしくお願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、事務局より説明願います。

指導室長。

金指指導室長 社会（公民的分野）の目標は「現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す」こととなっております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、①社会科における公民的分野と他の分野との関連等について、②公民的分野で学習する内容を見通せる工夫について、③生徒が自分事として考え探究的に活動できる課題等について、④社会科副読本についてとなっております。

以上であります。

本多教育長 ありがとうございます。

それでは、社会（公民的分野）について御審議いただきたいと思
います。御意見をよろしくお願いたします。

安部委員。

安部委員 歴史的分野や地理的分野と比べますと、公民的分野の学習については、
一体何を学習するのかという点に関して生徒が見通しを持ちにくいので
はないかと思ひます。

各社とも巻頭で教科書の使い方や公民の学び方などについて丁寧に説
明しています。たとえば育鵬社は、図でこれまで学習した地理的分野、
歴史的分野と公民的分野とのつながりが分かるように「地理・歴史・公
民の概念図」として示しています。何か地球のような大きな形で、とて
も面白いです。日本文教出版では、地理、歴史で学習した内容について、
写真を基に紹介しながら公民とのつながりを説明している形です。どち
らもこれまでの学習と公民的分野との関連が分かる資料だと思ひますが、
アプローチが大分違っているの面白いなと思ひました。

本多教育長 ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

本田委員。

本田委員 今、安部委員がおっしゃったように、各社とも巻頭ページで学習する
内容や学び方について説明していますよね。東京書籍の巻頭を見てみる
と、見開き2ページで写真とともに公民的分野で学習する内容について
示されているので、学習する内容のイメージが持ちやすいのではないか
なというふうに感じました。イラストのキャラクターの吹き出しで生徒
の疑問を引き出すような、そんな記載もいいなと思ひました。

帝国書院についても同じように、写真と問いということで学習する内
容について掲載しています。分量としては1ページですけれども、生徒
が学習のイメージや見通しを持ちやすくする工夫というのは、生徒の学
びやすさにつながるいい工夫なんだろうなと感じています。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

両委員からありましたけど、この「公民」という言葉自体が子どもた
ちは初めてなので、そういった部分でどういうことを学ぶのかというの
が、一番最初に見通しが持てるような記載があるというのは、各社工夫
はしているんですけど、大事になってくるのは、子どもがここからどう
いうふうに見通しが持てるかという、子どもの視点になるんですね。
なので、視覚的にどう見ていくかということでは、先ほど本田委員から
御指摘のあった両社については、たしかに子どもたちが見たところで分

かりやすいという工夫になっているのかなと思いますね。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴木委員 公民の学習では、実際の生活場面で生じる様々な課題について理解を深めて、その解決を図る力を育成することが大切だと思います。江東区の小学校・中学校では、児童や生徒が主体的に学校のルールや決まりについて考えたり、見直したりする活動に取り組んでいると聞いていますので、教科書にそのような内容に関連する記載がないかなというふうに見てみました。

教育出版は、合唱コンクールの練習場所について考えることを例として紹介して、ルールについて効率と公正の視点で考えられるようにしています。日本文教出版にも同じように、合唱コンクールの練習スケジュールについて考える事例が状況をイメージしやすいイラストとともに掲載されています。中学生が自分事として考えやすい課題であり、実生活に生かしたい内容であるなというふうに感じました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

生徒が実生活とのつながりを感じながら学習できるような課題の記載について、今、御意見をいただいたかなと思うんですけど。これは非常に重要なことですね。生徒が主体的に学習に取り組むという部分では、身近なものをつなぎ合わせて、それが社会につながっていくという、そういった視点というのは非常に大事なかなと思いますけど。

今、幾つかの出版社についてありましたけど、その他の出版社はどうですか。

本田委員。

本田委員 各社見たところでは、自由社と育鵬社、それから東京書籍では、部活の活動場所について考えるページがありました。さっきの合唱コンクールと同様で、生徒が学校生活との関連を感じながら学習できるんだろうなというふうに感じます。

その中でも東京書籍はかなり多くのページを使っていて、1年前に作った決まりを現在の状況から見直すというようなどころもとても丁寧に扱っていて、本当に実生活においてもイメージしやすい、分かりやすいなというふうに感じました。

そして、さらに「深めよう」ということで公園のルールについて考える課題なんていうものも用意されていて、学校生活での経験を社会の中で活用するという意識も育めるのではないかなと思いました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

先ほど鈴木委員からもありましたけれども、この効率と公正というところはとても大事なところでして、自分たちの学校生活の中だと、じゃあどういふふうを考えるべきかなというのがすごく重要な教材の記載かなというふうに思っています。こどもたちにとってどういふふうなものが分かりやすいかといった視点が大事なのかなと思います。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

浅野委員。

浅野委員 私は、選挙権が18歳になったことから、選挙についてどのように扱われているか見てみました。

これからの江東区、社会を支えていく中学生には、しっかりと公民の学習として選挙の意義や制度、課題等について理解してもらって、これから選挙権を行使してもらいたいと思います。各社とも選挙について様々な資料とともに掲載していますが、日本文教出版は、投票するまでの流れを写真とともに掲載していて分かりやすいと思いました。帝国書院も、投票の手順についてイラストで示しておりました。いいと思いました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

選挙権の話であります、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴木委員 今、浅野委員が選挙についてお話しされましたけれども、各社とも丁寧に記載していると思います。本区では、選挙管理委員会が実際の投票箱を使って模擬選挙を行う出前授業をしています。生徒が選挙についてしっかりと学ぶことが非常に大切だと思います。

教育出版は「18歳選挙権と私たち」という見出しにしていますし、東京書籍と自由社は、選挙に関する見開きの特集ページを掲載しています。東京書籍は、選挙の公示から投票、新議員の決定まで、写真やイラストで視覚的にも分かりやすいと思っています。「情報を集める」や「考える・話し合う」などの記載、満18歳になって選挙運動もできるという点やブログ、それからSNSの書き込みなどについての記載もあるので、選挙について様々な面で考えることができる資料だと思います。「18歳へのステップ」というコーナーとして資料を掲載しているので、18歳選挙権に向けた意識づけも図られる教科書ではないかなというふ

うに思いました。

本多教育長 ありがとうございます。

今、お二人から選挙についてのお話があったところですけど、たしかに今鈴木委員から御指摘のあった東京書籍のこの「18歳へのステップ」というところは、非常に子どもたちが、自分がこれから選挙するんだ、選挙に参加するんだという意識が高まるようになってきているのかなと思います。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安部委員 今を生きる子どもたちは、非常に変化の激しい、予測することが困難な社会を生きていくことになると考えられます。予測することが困難な社会において、持続可能な開発目標、いわゆるSDGsについて様々な場面で取り上げられており、小学校や中学校でも学習しています。

どの教科書も、公民の学習の総まとめとして、持続可能な社会を実現していくための学習について記載されています。特に、日本文教出版、東京書籍は、SDGsに関する探究活動について、課題の設定からまとめまでの流れが視覚的に分かるように掲載されているので、生徒も先生も使いやすいのではないかと思います。東京書籍は、これまでの各章で学習した内容について写真とともに説明しており、これまで学習した内容を生かしながら探究できるように工夫されています。

生徒たちには、公民的分野で学習した内容を持続可能な社会の実現に向けて生かして行ってほしいと思います。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

地図のところでもSDGsの視点という話がありましたけれども、これからの未来を担う子どもたちがそういった視点で考えていくことは大事なかなと思います。両社、私も今見ていますけれども、確かに文章も学びやすいような工夫になっているかなと思います。特に安部委員から御指摘のあった東京書籍の最後のところですね。今までの学習をうまく振り返りながらというところは、確かにいいのかなと思います。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、これまでの各委員の御意見を伺ってまいりましたけれども、社会（公民的分野）については、東京書籍が適しているのではないかなと思いますが、いかがでしょうか。

（「結構です」と呼ぶ者あり）

本多教育長 それでは、これまでの委員の意見を整理させていただきますと、生徒

が見通しを持って学べる工夫があること、生徒が主体的に学習に取り組める工夫があること、選挙の仕組みについて内容が充実していること、持続可能な社会の記載に工夫が見られること、以上の4つの理由により、東京書籍を採択したいと思っておりますけれども、よろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 御異議ございませんので、社会(公民的分野)については東京書籍を採択することといたします。

続いて技術・家庭(技術分野)について審議をいたしますので、委員の皆様におかれましては、技術・家庭(技術分野)の教科書の準備をよろしくお願いたします。よろしいでしょうか。

では、事務局より説明願いたします。

指導室長。

金指指導室長 技術・家庭(技術分野)においては、技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することを目指しております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、①情報モラルや情報セキュリティについて、②安全な実習の進め方の記載について、③他教科との関連についてとなっております。

以上であります。

本多教育長 それでは、技術・家庭(技術分野)について御審議いただきたいと思っております。よろしくお願いたします。

本田委員。

本田委員 学習が始まるページを見比べてみたいんですけども。1番初めに、「材料と加工の技術」という導入ページがあるんですけども、ちょっと見比べていただきたいんですが、3社ともにすごく工夫があるなと思っています。

例えば東京書籍は「技術の見方・考え方」となっていて、教育図書は、最近造られた建築について大きな写真で紹介しているので、すごく興味をひく工夫だなと思います。そして開隆堂出版は、いろいろな視点で掲載されているなというふうに思いました。単元の狙いとして、例えば「材料と加工の技術」では、「身の回りの材料と加工の技術に気づこう」として、写真と一緒に説明が書かれています。そのほかにも学習の流れや小学校やほかの教科とのつながり、製品の進歩、見方・考え方などが掲載されていて、すごく多くの情報があって、自分が興味のある情報に触れる、自ら選んで主体的に学ぶということができないのではないかなというふうに感じました。

本多教育長 ありがとうございます。

主体的な学びという部分が、先ほど来、出ている導入のページというのはすごく大事で、今、本田委員からも御指摘あった材料と加工の技術、私も今これ見比べていますけど。各社視点がちょっと違う工夫がされています。

今、本田委員からあった開隆堂出版、様々な視点でという部分が、先ほど御指摘のあった下の段の、身の回りの材料と加工の技術のところが水筒が取り上げられていて、歴史的にひょうたんの水筒から変わっていくという項目がある。確かにこどもたちにとっては分かりやすい記載になっていますし、角がたくさんある消しゴムってこどもたちも結構使ったりしていますよ。なぜこういった技術になったのかという辺りも、この後、どんなことを学んでいくのかなという興味関心を高める記載になっているかなと思います。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴木委員 日本の「ものづくり」は、世界的に評価が高いと思います。教科書はその点から見ますと、東京書籍、開隆堂出版、教育図書 の3社とも学習の大きなまとまりについて、日本の技術について記載されております。

教育図書では、編末に「社会の発展と技術」について取り上げています。252ページには「日本の技術を支える人々の想い」として、木造建築技術と品種の研究開発について掲載されています。東京書籍でも編末に「すごいぞ！技術」として、その技術の説明とその技術に関わる人々のインタビューが掲載されています。ジャンルと掲載している人数が多いのが東京書籍の特徴だと思います。開隆堂出版は編末に「インタビュー」として、その技術の説明とインタビューが掲載されています。開隆堂出版のインタビューは、細かな点で詳しく載っておりまして、中学生へのメッセージも掲載されていますので、このようなインタビューは、生徒の興味関心を高めるとともに学習を発展させ、キャリア教育にもつながっていくのではないかなというふうに思いました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

生徒の興味関心、主体的な部分での御意見だったと思うんですけど。各社ともに技術のことは、技術科の教科書ですから工夫して載せているところがあって、今、鈴木委員がおっしゃったとおりだなと思うんですけども。

開隆堂出版の右ページの上のところ、ツメ見出しというんですけども、ここにずっと小さい、いろいろな商品が載っているんですね。特

に情報のページの辺りでは、最近子どもたちも見なくなったフロッピーディスクとかVHSテープとかMDとかそんなものが出ていて、子どもたちの興味関心という点で工夫があるのかなと思うんです。ずっと見てみると、電話機なんかも固定電話の黒電話とか載っていて、最近子どもたちも見ないようなものがあって、そういった、ちょっとした工夫ですけど、そんな興味関心という部分ではひとつあるのかなと思いますね。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安部委員 技術の学習でも、問題解決に取り組むには見方・考え方というものが重要だと思いますが、各社とも丁寧に扱っているなと感じています。教育図書は、立場や見方・考え方によって解決策が異なるということ、自転車を例に説明しています。東京書籍は、漫画を使って説明していて、生徒自身が自ら考えられるよう、問いかける形でまとめられています。開隆堂出版は、ボールペンを例に挙げ、技術の見方・考え方を説明しています。最後に「調べてみよう」というコーナーがあり、ボールペンで学んだことを、はさみについて自分なりに考えさせるよう工夫されています。このボールペン、僕もあまり知らないことが多くて勉強になりました。

本多教育長 ありがとうございます。

ボールペンを分解して中を見たりあまりしませんが、こういうふうにボールペンを題材にして書いてあると、技術の見方・考え方について分かりやすいという御指摘だったかなと思います。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

浅野委員。

浅野委員 中学生になるとSNSなどを使って友達とやり取りする機会が多くなると思います。自分自身を守るための情報セキュリティや相手を傷つけないための情報モラルは、必要不可欠だと思います。情報の技術の学習では、この情報モラルや情報セキュリティについて学習します。3社とも10ページを使って丁寧に学習できるようになっていると感じました。

特に情報モラルについての取扱いを見ると、東京書籍と開隆堂出版は、複数ページにわたり丁寧に扱っていると感じました。教育図書と開隆堂出版は、事例として具体的な場面を取り上げて掲載されているのが分かりやすいと思います。開隆堂出版は、導入でSNSを利用するときには注意すべきことについて、生徒たちに話し合わせる活動を取り入れています。本区でもSNSルールを生徒主体でつくっていますので、生徒がこれまでの自分のSNSとの関わりを振り返り、問題を自分のことと

して考えるように工夫しているのはよいと思います。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

子どもたちを取り巻く問題という意味ではSNSというのは非常に大きなことであって、情報モラルというのは道德でも学んだりとかしますし、今浅野委員からも御指摘のあったSNSの学校ルールですよね、それを自分たちで考えたりする中で、子どもたちも主体的に関わってきているわけですけど。

情報セキュリティということについては、技術科でやるのが大事になってきていて、その記載は今お話があったところではすごく大切なことを学ぶというふうに思いますね。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

これまで各委員から技術科のことについてお話を伺ってきたところではありますけれども、技術・家庭（技術分野）については、開隆堂出版が適しているのではないかなと思いますけど、いかがでしょうか。

（「結構です」と呼ぶ者あり）

本多教育長 それでは、これまでの各委員の御意見を整理させていただきますと、生徒の主体的な学びを促す工夫があること、技術の見方・考え方についての記載に工夫があること、情報の技術の学習の記載について工夫があること、以上3つの理由により、開隆堂出版を採択したいと思いますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

本多教育長 御異議ございませんので、技術・家庭（技術分野）については開隆堂出版を採択することといたします。

続いて、技術・家庭（家庭分野）について審議をいたします。委員の皆様におかれましては、技術・家庭（家庭分野）の教科書の御準備をよろしく願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、事務局より説明願います。

指導室長。

金指指導室長 技術・家庭（家庭分野）においては、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指しております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、①調理実習について、②食事のマナーに関する記載について、③職場体験への活用について、④幼児との触れ合いに関する記載についてとなっております。

以上であります。

本多教育長 ありがとうございます。
 それでは、技術・家庭（家庭分野）について御審議いただきたいと思
います。よろしく願いいたします。
 安部委員。

安部委員 家庭分野は技術とは違いまして小学校5年生から学んでいます。小学
校と中学校の接続という点で教科書を見てみました。
 各社とも工夫が見られます。特に教育図書と東京書籍は、初めのガイ
ダンスに見開き2ページを使っています、小学校の学習と中学校の学
習のつながりを分かりやすく示しています。また、東京書籍と開隆堂出
版は、学習の始まりや途中にも、小学校との関連が分かるように工夫さ
れているなと感じました。
 以上です。

本多教育長 ありがとうございます。
 小学校との学びの接続、これはどの教科でも大事なことですけど、家
庭科については、5年生から学び始めたものがどうつながっていくか
ということについては、学習指導要領は小・中・高うまく接続するように
変わってきているので、そういった部分は大事だなと思います。ありが
とうございます。
 ほかに、いかがでしょうか。
 本田委員。

本田委員 これもどの教科の教科書でも同じなんですけれども。主体的に課題解
決に取り組むというのが大事だと思っています。
 3社とも巻頭に、自分の課題を見つけるという取組があります。教育
図書の10ページでは、「自分の課題をもって学習に取り組もう!」、
家庭分野の課題解決ですね。そして、開隆堂出版の12ページでは、
「生活課題に取り組む」というタイトルで、生活課題の見つけ方を説明
しています。そして、東京書籍の16ページでは、「自分の生活チェッ
ク」として、これから学習する衣食住全てについて、入学当初の自分の
今の生活を見つめる活動というふうに位置づけています。学習した後の
変化ということを書き入るところもあって、学習に自分事として取り組
むことができる、成長が実感できるような内容になっているので、自ら
学ぶ姿勢というものにつながっているんだろうなと感じました。
 以上です。

本多教育長 ありがとうございます。
 今、御指摘のあった東京書籍の「自分の生活チェック」、たしかに振

り返りができるようになっていますね。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴木委員 他の教科書とも同様なんですけれども、家庭科は特に学習の進め方が分かりやすく見通しが持てる構成になっているのがよいと思います。進め方や見通しを持てると、主体的な学習につながっていくと考えます。

3社とも、巻頭の「教科書の使い方」として学習の進め方を説明しています。教育図書は8・9ページにあります、「導入」「やってみよう」「学びを生かそう」「章末のまとめ」という進め方を提示しています。開隆堂出版は、2・3ページにありますけれども、「学習をスタートしよう」「客観的な記述から学ぼう」「生活の中の課題を考えよう」「学習をふり返ろう」という進め方をしております。東京書籍は2ページにありますけれども、学習の流れが「目標」から「まとめの活動」へと6ステップありまして、教科書を通して統一されていますので、分かりやすく提示されていると感じました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。今、主体的な学びの記載について御指摘がありました。

ほかの視点ではいかがでしょうか。

浅野委員。

浅野委員 家庭科は、実際の生活に生かしやすい教科だと思います。生活に生かすには、実際に調理したりお裁縫をしたりする体験が大切だと思います。調理の実習例では、3社とも「しょうが焼き」を取り扱っていて、全社、見開き2ページでまとめられていました。東京書籍と開隆堂出版は、手順を細かく分けて、左から右へ掲載されていて見やすいと思います。

3社ともしょうが焼きの献立例や組合せ例が掲載されていました。中でも東京書籍と開隆堂出版は、組み合わせで調理する場合の手順例まで示されていてすごく実践的だなと感じました。

本多教育長 ありがとうございます。

家庭科の教科書では前からしょうが焼きは扱っているんですよ。それだけ我々にとって身近であるということと、基準を示しやすいところがあって、取り扱いやすいというものもあるんだと思いますが。

今、浅野委員からも御指摘があったように組合せっていうのはやっぱり大事ですよ。実際、ここではしょうが焼きとおひたしとみそ汁みたいなのを一緒に作っていくときに、どういうふうな手順でやっていけばいいか。そうですね、しょうが焼きを作ってから、おひたし作ってみ

そ汁作ったら、しょうが焼きは冷めちゃいますよね。それをどういうふうにやっていくかというのが、結構これ、具体的に書いてあって、慣れていればできるかもしれませんが、子どもたちがやっていく部分では大事な視点なのかなと思いますね。ありがとうございます。

それから、僕もここをちょっと見せていただいていたんですけど、各社ともアレルギーのところについてはちゃんと記載があるんですよ。子どもたちが実際作るという部分で、アレルギーがある人はそういうのが大事なので。それが材料のところはどう記載されているかという部分ですけど。下線が引いてあるだけのところもあれば、東京書籍とかは黄色い三角をつけてびっくりマークまで入れて目立つようにしていたりとか、また黄色いマーカーが引かれているところもあったりとか、各社工夫がそれぞれあるところですね。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安部委員 私もしょうが焼きが好きでよかったです。

浅野委員が実践的に学ぶことについてお話しされていましたが、教科書調査研究資料を見ますと、実践的・体験的な活動を取り上げている箇所数がありまして、教科書調査研究資料の466ページなんですけれども、こちらを見ると、東京書籍が3社の中で一番多く取り上げていることが分かります。まあ、僅かかもしれないですけども、他社より10ポイントないし20ポイント近く上回っているなということを感じました。

本多教育長 ありがとうございます。

466ページですね、そのところに書いてある。確かにそんなに大きな差ではないかもしれませんが、まあ割合で言ったりとか個数で言ったりとかしても、まあ高い数字になっているのが分かりますね。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、これまで各委員の御意見を伺ってまいりましたけれども、技術・家庭（家庭分野）につきましては、東京書籍が適しているのではないかなと思いますが、いかがでしょうか。

（「結構です」と呼ぶ者あり）

本多教育長 それでは、これまでの各委員の御意見を整理させていただきますと、小学校との学びの接続が図りやすいこと、生徒が主体的に学べる教科書であること、実践的・体験的に学べる工夫があること、以上3つの理由により、東京書籍を採択したいと思いますが、御異議ございますか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

本多教育長 御異議ございませんので、技術・家庭（家庭分野）については東京書籍を採択することといたします。

続いて、外国語について審議いたしますので、委員の皆様におかれましては、外国語の教科書の準備をよろしく願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、事務局より説明願います。

指導室長。

金指指導室長 外国語科については、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考え方などを理解したり、表現したり、伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指しております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、①英語スタンダードについて、②生徒の主体的な学びについて、③4技能を身につける重要性について、④二次元コードによる動画等の資料についてとなっております。

以上であります。

本多教育長 それでは外国語について審議したいと思いますので、御意見がありましたら、よろしく願いいたします。

本田委員。

本田委員 小学校でも5・6年生で外国語が教科となったと思うんですけれども、3年生、4年生も外国語活動というところで取り組んでいるかと思います。小学校での学習がしっかり中学校へつながっていくということが大切だと思いますし、教科書自体もそういった視点が大事になったかなと考えています。

本多教育長 ありがとうございます。

安部委員。

安部委員 今回の本田委員と、私も基本的には同じなんですけれども。その視点で各社を見てみると、小学校で学んだ内容の中学校への接続が重視され、巻頭部分で小学校で学んだことを意識して学習に取り組めるようになっていきます。例えば、東京書籍の1年生の教科書を見ますと、Unit 0からUnit 4で小学校での学びを基に学習を進めるようになっていきます。啓林館では「Let's Start」、教育出版では「Springboard」として、英会話を聞く活動やアルファベットの復習ができるようになっていきます。教育出版については、併せて辞書の使い方についても出ていていいなと思いました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

1年生の最初の接続のところが話題になっていますが、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴木委員 開隆堂出版にも「Get Ready」として同様のページがあります。三省堂は「Starter」として、小学校で体験した活動にもう一度取り組むことができるようになっていて、他社と比べると教科書に書き込む箇所が多い印象を受けます。また、「My Dictionary」として小学校で学んだ語句や表現がまとめられていて、授業でも活用ができそうです。光村図書出版では「Let's Be Friends!」として小学校の学びを中学校につなげるページがありますが、アルファベットと併せて子音字や母音字の発音についてのページがあるなど、発音に力を入れているように感じました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

今、各委員から、小学校からの接続の視点でお話しいただいたところですが、これは非常に大事ですね。前は中学で初めて英語だったけれども、今は小学校で積み重ねてきていますから、その接続をどうつなげていくか。特に中学校とのギャップですね、そこをうまく滑らかにしていくということと、小学校での学びをつなげていくということはすごく重要なので、今の視点で教科書を見るということは大事ななと思います。

本区においては教科書のみならず、先生方にその視点が大事だということを理解してもらうために、小学校、中学校の先生方がお互いに授業を見合う機会を設定したりしているんですね。小中学の研究でも大分連携したりとかしていますし、小学校、中学校の先生方で英語教育の専門委員会を開いたりとかしてつながりを持っていますね。そういったことがすごく大事ななと思いますね。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

浅野委員。

浅野委員 こどもたちが主体的に学習を進めていく上で、目当てが明確なことや学習の流れが分かりやすいことが大切だと思います。

開隆堂出版は、単元の初めのページに「GOALS」とともに「こんな表現ができる!」としてこの単元でできるようになることがイラストとともに示されています。光村図書出版と教育出版では「Goal」として、啓林館では「Unit goal」として示されていました。

このように身に付ける力を意識して学習ができる工夫はよいなと思い

ました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

今、主体的に学ぶ視点での御意見ですが、ほかの社とかはいかがですか。

本田委員。

本田委員 同じように三省堂を見てみると、三省堂では単元の冒頭で「Lesson Preview」ところがあって、その中で身に付けたい力を「Goal Activity」として、単元の物語の流れを示した「Scene」というのが示されております。その後の「Part」では、「Small Talk」として単元の物語に沿った自分の考えをペアで話す活動というのが設定されていました。なので、自分の考えをもって学習に取り組む工夫があることによって、英語の学習を自分事として楽しんで行うことにつながって、より主体的な学習になるのではないかなというふうに思います。

本多教育長 ありがとうございます。

主体的な学びというのは、今までもほかの教科でもずっと各委員からお話いただいたところですけど、重要ですよ。繰り返しになりますけど、教科書のそれぞれの単元の冒頭をどう構成していくかということ、そこを先生方の指導でどう使っていくかということが大事で、今、本田委員から御指摘があった三省堂の工夫というのも非常に分かりやすいことなのかなと思いますね。ありがとうございます。

ほかの視点ではいかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴木委員 私は英語スタンダードの内容について見比べてみました。

英語スタンダードには、「英語で江東区について伝えることができます」という項目があります。光村図書出版の2年生には、『「わが町観光プラン」をおすすめしよう』という活動があります。三省堂も2年生で『好きなもの×観光マップ』という活動があります。開隆堂出版も2年生に日本のお勧めスポットを紹介する活動が設定されています。

江東区について調べ英語で発表する活動は、英語スタンダードの「英語で身近なできごとや自分の考えをつたえることができます」に通じることがあるので、ぜひ江東区について伝える活動が設定しやすい教科書がよいのではないかなと思いました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

今、御指摘の英語スタンダードというものですけど、我々がこどもたちにしっかりと身につけさせるためにはということで作ったものですが、教科書の中でどう扱われているかというのが非常に大事で、今、鈴木委員がおっしゃられたように、これを使うことで英語スタンダードの江東区について伝えるということがうまく活用できるという意味では、教科書における英語スタンダードの取扱いがとてども大事になってくるのかなと思います。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、これまで各委員の御意見を伺ってきたところでありますけれども、外国語については、三省堂が適しているのではないかなと思いますが、いかがでしょうか。

(「結構です」と呼ぶ者あり)

本多教育長 それでは、これまでの各委員の御意見を整理させていただきます。まず、小学校での学習を生かしやすい教科書であること、生徒が主体的に学びやすい教科書であること、英語スタンダードの定着が図られること、以上3つの理由から、三省堂を採択したいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 御異議ございませんので、外国語については三省堂を採択することといたします。

続いて、特別の教科 道徳について審議をいたします。委員の皆様におかれましては、特別の教科 道徳の教科書の御準備をよろしくお願ひします。よろしいでしょうか。

それでは、事務局より説明願ひます。

指導室長。

金指指導室長 特別の教科 道徳は中学校において、平成31年度から教科化されました。特別の教科 道徳は、道徳教育の目標に基づき、「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てること」を狙いとしております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、①「考え、議論する道徳」について、②現代的な課題について、③別冊ノートの取扱いについて、④見通しを持たせることについてとなっております。

以上であります。

本多教育長 それでは、特別の教科 道徳について、御審議いただきたいと思ひます。御意見がありましたら、よろしくお願ひいたします。

浅野委員。

浅野委員 私は、生徒の目線から見ると、「自分ならどうだろうか」と考えたり、「友達はどんな意見を持っているのだろうか」と必要感をもって話し合えたりする教材が掲載されていることが大切だと思います。先ほど指導室長からお話があったように、「考え、議論する道徳」ということが言われているので、生徒同士で議論するなど、生徒の主体的な学習を促せるような教科書が私はいいと思いました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。
ほか、いかがでしょうか。
安部委員。

安部委員 私も浅野委員のおっしゃるとおり、生徒がぜひ自分事として考え、活発に話し合いをしながら学習に取り組んでほしいと考えています。各社、話し合いを持たせるための工夫がされていると感じます。例えばG a k k e nでは、「深めよう」という活動が設定されていたり、日本文教出版では、「学びを深めよう」として、深めるヒントが具体的に紹介されていたりします。話し合うための方法が紹介されていると、先生方も指導しやすいでしょうし、生徒も使いやすいのではないかと思います。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。
ほか、いかがでしょうか。
鈴木委員。

鈴木委員 活発な話し合いということで、東京書籍の巻末についている、切り取って使える心情円は、自分たちの考えが見える形で表現できるのでいいなと思いました。また日本教科書には、同じように切り取って使えるウェルビーイングカードというのが巻末についていて、共同学習などのときにはしやすいのではないかなと思いました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。
最後のほうに切り取って使えるものがついていますね。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

本田委員。

本田委員 私は、この紙のものも大事なんですけれども、これはどの教科にも入

ってきたデジタル教材、それにちょっと注目してみると、教育出版では各教材の初めに二次元コードがついていて、教材を解説するとともに、どんな視点で考えていけばよいか分かるようになっていました。光村図書では、教材によって朗読や追加資料などが見られるようになっていきます。先生方についても事前に印刷等をしなくて済むのかなというふうに感じました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

「考え、議論する」というのは、今回の特別の教科 道徳には非常に重要なんですね。そういった部分では、どういうふうに議論していくか、その助けになるものが今各委員から出されたものなんだなというふうに思います。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安部委員 私は、各社の1年生の目次を見ていたんですが、教科書によって、重点的に取り上げている現代的な課題について各社、多少違うことが分かります。例えば東京書籍、教育出版では「いじめ」「いのち」について複数の教材で続けて扱っています。あかつき教育図書では「いじめ」「情報モラル」「キャリア教育」、光村図書出版では「いじめ」「情報モラル」、日本教科書では「キャリア形成」「生命・健康・福祉」などです。

こうしてみると、各社が何を重点テーマにしているかが分かりますし、やはり生徒たちにとって考えてほしいことを複数の教材で繰り返し行うことは効果的ではないかなと感じました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

現代的な課題になりますと、いろいろな視点で対応しなければならないですね。

ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴木委員 現代的な課題という視点では、G a k k e n の1年生46ページを見てみると、ユニット学習という扱いでSDGsについて複数の教材で考えを深める工夫をしていることがよく分かります。日本文教出版の1年生104ページでは、「よりよい社会を考える」というテーマでユニット学習をしています。現代的な課題について複数の教材を組み合わせ、しっかりと考えられるように取り扱っているところがよいのではないかと

なと思いました。

以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。
 ほか、いかがでしょうか。
 本田委員。

本 田 委 員 その現代的な課題というのは、この教科書だけで学ぶのではなくて、そこからさらに日常であるとか発展的な学びができるようになっていかなければいけないのではないかなというふうに思っています。

 そういう意味では、東京書籍では「プラス」というものを、あかつき教育図書では「マイプラス」というふうにして、課題についてさらに生徒たちが考えるきっかけとなる工夫というのが載っていていいと思います。

 以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。
 今、現代的な課題というところでいろいろと御指摘があったと思うんですけども。日本文教出版でも「いじめ」をしっかり取り上げているところがあって、1年生なんかで結構しっかりと取り扱っていたりというのも接続という部分ではなかなかいいと思うし。現代的な課題からさらに広げて、よりよい社会を考えるというのは非常にたくさんの教材で扱っていたというのがありますね。

 先ほど様々あったのが、あかつき教育図書なんか「共に生きる社会」というのがありますけれども、こういった現代的な課題をどう扱っていくか。そういったところは先ほどの「考え、議論する」というところでも、非常に子どもたちの身の回りにある現代的な課題をどういうふうにやっていくかということが非常に大事になってきますし、特にいじめの問題については、いじめのことについての授業を必ず年間3回以上やるとか、そういったことも決まっているところもあるので、道徳でどう取り扱えているかというのがすごく大事になってくるのかなと思います。

 ありがとうございます。

 そのほか、いかがでしょうか。

 浅野委員。

浅 野 委 員 私は、生徒たちが自分の考えを記録するページを見えています。特徴的なのは日本文教出版です。ノートが別冊になっていて、教材ごとに自分の考えをまとめることができるようになっていています。先生も生徒も使いやすいという点では、印刷する必要はなく、生徒がどういう考えをしていたかということが見やすくていいと思いました。

本多教育長 ありがとうございます。
 ほか、いかがでしょうか。
 安部委員。

安部委員 自分の考えを記録するという点では、東京書籍は二次元コードがついていましてワークシートがデジタルで確認できるようです。Gakkenは、全ての教材ではありませんが、教科書に直接書き込みができるようになっています。また、教育出版、Gakken、あかつき教育図書、東京書籍の巻末に注目しますと、学期末ごとに自分の学びを振り返るワークシートが用意されています。こうした振り返りをする事で、自分自身の道徳的な考えを客観的に見ることができていいと思います。
 以上です。

本多教育長 ありがとうございます。
 ほかに、いかがでしょうか。
 本田委員。

本田委員 自己評価や自己の考えを記載するという点では、先ほど浅野委員からお話があった日本文教出版の別冊の道徳ノート、これはこどもたちの振り返りや先生の評価にも活用しているというふうに聞いています。中を見ると、質問の部分が空欄になっているので、先生方が生徒に合わせた質問や授業の展開がしやすいように工夫されているんだろうなというふうに思います。これがすごく大事なので、よくなった点だなと感じました。
 以上です。

本多教育長 ありがとうございます。
 今のノートというところは、採択資料作成委員会の結果報告書の中でも意見が挙げられていたかなと思います。ありがとうございます。今、本田委員からあったように、確かに前のノートより工夫されているところがあったのかなと思います。ありがとうございます。
 ほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。
 それでは、これまで各委員に御審議いただいてきたところでありますけれども、各委員の御意見を伺っていますと、特別の教科 道徳については、日本文教出版が適しているのではないかと思います、いかがでしょうか。

 （「結構です」と呼ぶ者あり）

本多教育長 それでは、これまでの各委員の御意見を整理させていただきますと、生徒が考え、議論しやすい工夫があること、現代的な課題についての内

容が充実していること、別冊になっているノートが効果的なこと、以上の3つの理由により、日本文教出版を採択したいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 御異議ございませんので、特別の教科 道徳については日本文教出版を採択することといたします。

以上で、本日予定しておりました教科等の教科用図書についての審議は終了いたしました。これで、前回の審議と合わせて、令和7年度より江東区立中学校、義務教育学校後期課程で使用する教科書が全て決定いたしました。

ここで、採択を決定した教科用図書について、改めて確認をさせていただきます。国語、光村図書出版。書写、光村図書出版。社会（地理的分野）、帝国書院。社会（歴史的分野）、教育出版。社会（公民的分野）、東京書籍。地図、帝国書院。数学、東京書籍。理科、東京書籍。音楽（一般）、教育芸術社。音楽（器楽合奏）、教育芸術社。美術、日本文教出版。保健体育、G a k k e n。技術家庭（技術分野）、開隆堂出版。技術家庭（家庭分野）、東京書籍。英語、外国語ですね、三省堂。特別の教科 道徳、日本文教出版。

ただいまの採択結果について、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 御異議ありませんので、令和7年度より使用する中学校等教科用図書について、ただ今確認させていただいたように、決定いたします。

それでは続いて「令和7年度 江東区立学校特別支援学級教科用図書採択について」を議題といたします。事務局より説明願います。

指導室長。

金指指導室長 それでは、令和7年度 江東区立学校特別支援学級教科用図書採択について御説明いたします。

特別支援学級の教科用図書採択については、一人一人の障害の種類、程度、能力、特性にふさわしい教科用図書を採択するため、毎年行っております。検定教科書についての採択は既に行っていただきましたので、ここではそれ以外の教科用図書について御審議いただきたいと思います。

初めに資料について御説明いたします。

江東区立小中学校の特別支援学級で使用する教科用図書につきましては、資料9「江東区立学校特別支援学級で使用する教科用図書の採択について」に基づき、障害種別や程度、発達段階等を考慮して、子どもたちに最もふさわしい教科書という視点で教科書の調査を行ってまいりました。調査部会では、各特別支援学級設置校からの調査結果に基づき、内容だけでなく、文字の大きさ、表現やイラストの扱い、活用法、系統性などについて、精査・検討を行いました。

その結果を一覧表にまとめたものが資料10「令和7年度 江東区立小学校特別支援学級教科用図書一覧」及び資料11「令和7年度 江東区立中学校特別支援学級教科用図書一覧」でございます。資料10、11の記載についてでございますが、区分の欄のところに（検）と記載してありますのは、文部科学省の検定を経た教科用図書のことでございます。文部科学省の検定を経た教科用図書を使用する場合は、現在採択されている発行者の教科用図書を使用することとなります。次に、（文）と記載してありますのは、文部科学省が著作の名義を有する教科用図書のことでございます。そして（般）と記載してありますのは、学校教育法の附則9条に規定する一般図書のことでございます。特別支援学級で使用する教科用図書は以上の中から採択することとなっております。

最後に、一般図書の採択基準について説明をいたします。資料9「江東区立学校特別支援学級で使用する教科用図書の採択について」にありますように、一般図書の採択基準は、教科の主たる教材として教育目標の達成上適切な図書であること、現在も入手が可能な図書であること、児童・生徒の障害種別、程度、能力・特性に最もふさわしい文字、表現、挿絵、題材等の図書であること、可能な限り系統的に編修され、教科の目標に添う内容をもつ図書であることなどが挙げられます。

なお一般図書は、資料12の東京都教育委員会が調査研究を行い作成した「令和5～7年度使用 特別支援教育教科書調査研究資料」に掲載されている図書の中から選定しております。教科書として採択する一般図書は、各教科の主たる教材として有効かつ適切でなければなりません。資料10、11としてまとめました教科用図書一覧では、十分に調査研究されたものの中から選定されているものであることを付け加えて説明させていただきます。

以上でございます。

本多教育長 ただいまの説明、そして教科用図書一覧が示されておりますけれども、このことについていかがでしょうか。よろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

本多教育長 特別支援学級の教科用図書採択につきましては毎年行っておりまして、各委員におかれましては、文部科学省著作本、そして各校から候補に挙げられました一般図書についても既に見ていただいているところであります。十分に御理解いただいていることと存じますけれども、各校の児童生徒一人一人の状況に応じた教科用図書が一覧として示されております。部会でもしっかりと検討されて、各学校でも子どもたちの実態に適したものというふうに挙げられているものであります。

特に御意見がございませんでしたら、令和7年度 江東区立学校特別支援学級で使用する教科用図書については、資料10「令和7年度 江東区立小学校特別支援学級教科用図書一覧」及び資料11「令和7年度

江東区立中学校特別支援学級教科用図書一覧」のとおり採択いたしたいと存じますが、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 御異議ございませんので、「令和7年度江東区立小学校特別支援学級教科用図書一覧」「令和7年度江東区立中学校特別支援学級教科用図書一覧」のとおり採択いたしたいと存じます。

以上をもちまして、令和7年度 江東区立学校特別支援学級教科用図書採択についての審議を終わります。

以上で、教科書採択に関する案件審議が終了いたしました。本案件のみの傍聴を希望された傍聴人の方は、事務局の職員が御案内いたしますので、御退室いただければと思います。

なお、教科書採択以外の案件についても傍聴を希望される方については、引き続き傍聴することができます。よろしく願いいたします。

以上です。

(傍聴人退室)

本多教育長 それでは、これより報告事項に入ります。

「報告事項1 江東区立幼稚園の今後のあり方に関する基本方針（令和6年度改定版）について」を事務局より説明願います。

学務課長。

佐久間学務課長 資料の13-1を御覧願います。

江東区立幼稚園の今後のあり方に関する基本方針（令和6年度改定版）につきましてですが、5月の教育委員会で御報告いたしました素案につきましてパブリックコメントを実施いたしましたので、御報告させていただきます。

1のパブリックコメントの概要ですが、募集期間を令和6年7月11日から7月31日までとし、7月11日号の区報及びホームページに掲載するとともに、区役所2階のこうとう情報ステーション及び学務課窓口において閲覧をさせていただきました。

次に2のパブリックコメントの結果になります。募集期間中に52名の方から御意見を頂戴いただきましたが、内容ごとに整理した結果、意見等の総数は122件となっております。また、御意見を大きく7つに分類し、AからGに区分した結果、記載の表のと通りの件数となっております。

それぞれの主な御意見ですが、Aの適正配置に関しましては、通園の負担が増えるといった御意見、Bの閉園対象園に関しましては、区立幼稚園の魅力をもっとアピールすれば入園者数が増えるといった御意見、Dのサービスの拡充等に関しましては、預かり保育ですとか魅力向上のための取組に関する御意見などがございます。それぞれの意見に対する区の考え方につきましては、資料13-2にまとめてございますので、

後ほど御覧いただければと思います。

次に3のパブリックコメント等の反映でございますが、パブリックコメントですとか保護者説明会などでいただいた御意見を踏まえまして、素案を修正してございます。資料13-3、こちらの10ページを御覧ください。素案におきましては2の区立幼稚園における取組の方向性につきまして、13ページにかけて、3歳児保育をはじめとした4つの取組を整理しておりましたが、区立幼稚園のよさや取組内容が十分に周知されていないといった御意見が多かったことから、13ページの(5)に、5つ目の方向性としまして「区立幼稚園の魅力を伝える取組」として追加することといたしました。この基本方針に基づき区立幼稚園が存続していくよう努めてまいります。

なお今後の予定ですが、9月21日号の区報及び区のホームページへパブリックコメントの結果を掲載し、基本方針(改定版)と併せまして周知を図ってまいります。

説明は以上でございます。

本 多 教 育 長

本件について質疑願います。よろしいでしょうか。

これまで各委員から素案のときに御意見をたくさんいただいたところで、今回、区民の皆様方からパブリックコメントをたくさんいただいたところでもあります。それについては資料にあるように、区としてでき得ることについて回答させていただき、基本方針にも変更をさせていただいたりしているところでもあります。

委員の皆様、そして私も同じ思いなんですけれども、江東区立幼稚園の質の高い教育ということについては十分理解していて、本当にたくさんのごどもたちに江東区立幼稚園に入ってもらいたいという思いは変わることはありません。今回、このような形でさらに閉園する形になっているということは、本当に断腸の思いであります。

しかしながら我々ができること、そして今他区では区立幼稚園をゼロにしていくところもありますけれども、今回のことでは地域バランスも考えた上で、何とか幾つか工夫をしながら残していくという案にまとまってきたところでもあります。

先ほど学務課長からもありましたけれども、今後さらに江東区立幼稚園のよさをPRすることに力を入れていくこと、そして、ぜひとも入っていただける方には江東区立幼稚園に入っていただきたいというところを我々としてはしっかりと努力をしてまいりたいと思いますし、江東区立幼稚園に勤務している先生方の思いも大切にしながら、そしてこの教育の質を、江東区立幼稚園のみならず保育園、私立幼稚園へも広げていきながら、江東区全体の就学前教育の質を高めていきたいと思っております。

先ほど報告があった改定をしていくというところで報告を終了させて

いただきますが、よろしいでしょうか。

それでは、各区民の御意見をしっかり受けながら、さらに前に進めていきたいと思っています。

以上で、本報告を終了いたします。

次に、「報告事項2 令和7年度区立幼稚園の園児募集について」を説明願います。

学務課長。

佐久間学務課長 令和7年度区立幼稚園の園児募集について御説明いたします。

資料14を御覧願います。

まず1の園児募集人数一覧のうち上段の4歳児でございますが、募集定員を13園で405名としまして、1学級当たりの定員は35名としてございます。2番の南陽幼稚園、5番の豊洲幼稚園につきましては、3歳児保育の定員が60名、4歳児の定員が40名となっておりますので、進級に伴い増加する定員10名分の募集となりますが、仮に10名を超える応募があった場合でも、現3歳児の園児数の状況を確認しながら希望する方の多くを受け入れていきたいと考えてございます。

なお、なでしこ幼稚園につきましては、現3歳児と4歳児の定員が35名と同数になるため4歳児の募集は行わず、東砂幼稚園につきましては、現行方針に基づき令和7年度末で閉園となりますので、この表に記載はしてございません。

続きまして3歳児でございますが、募集定員を5園で195名としてございます。1学級当たりの定員は原則として20名としてございますが、なでしこ幼稚園につきましては、進級後の学級編成や保育室の関係から、2学級合わせて35名の募集としてございます。なお、基本方針の改定に伴い、令和7年度から新たにつばめ幼稚園、第五砂町幼稚園の2園におきまして3年保育を開始しております。

次に、2の申込資格及び3の園児募集日程につきましては記載のとおりになります。なお、申込受付につきましては、原則として電子申請によって行いまして、電子申請ができない事情がある場合は書面により対応してまいります。

次に、4のその他の記載ですが、園児募集の結果、応募人数が5人に満たない場合につきましては、集団教育に支障があるため翌年度の学級編成は行わないこととしてございます。また学級数は、募集定員の上限に合わせているため、実際に入園する園児数に応じて学級数を調整する場合がございます。最後の丸でございますが、令和8年度末で閉園を予定している大島幼稚園、元加賀幼稚園、辰巳幼稚園、ひばり幼稚園につきましては、今回が最後の園児募集となります。

説明は以上でございます。

本 多 教 育 長 本件について質疑願います。よろしいでしょうか。

毎年毎年、募集をしっかりかけてきているところではありますけれども、非常に厳しい状況があります。先ほどのあり方のところでもありましたけれども、我々ができる限りPRをしっかりとしていくことも大事だと思いますので、江東区立幼稚園の募集についても、今まで以上に募集に向けての力を入れていきたいと思っておりますし、江東区立幼稚園のよさを知っている方々には、ぜひそのよさを伝えていただきたい。また、今回、つばめ幼稚園と第五砂町幼稚園で3歳児保育を始めますので、そこにしっかりとたくさんの方に入ってもらえるように、教育委員会としては幼稚園と連携しながら努力をしてみたいと思っております。

よろしいでしょうか。

それでは、本報告を終了いたします。

以上で本日の審議が終了いたしましたので、傍聴人の方におかれましては、事務局の指示に従い御退室願います。ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、令和6年第8回江東区教育委員会定例会を閉会いたします。ありがとうございました。